

# 研究協力をお願い

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

CBCT を用いた Down 症候群小児患者の顎関節形態解析

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2023年7月までに昭和大学歯科病院矯正歯科を受診しコーンビームCT撮影による検査を受けた Down 症候群の患者さん。

本研究対象となる Down 症候群患者さんと年齢・性別が合致し、先天性疾患を有していなく、2023年7月までに昭和大学歯科病院矯正歯科を受診しコーンビームCT撮影による検査を受けた患者さん。

## 2. 研究目的・方法

Down 症候群の患者さんは先天性疾患を有していない患者さんより顎関節症の発症頻度が高いことが報告されています。しかし、その病態に関する報告はほとんどありません。そこで我々は2023年7月までに昭和大学歯科病院矯正歯科を受診しコーンビームCT撮影による検査を受けた Down 症候群の患者さんの診療データ(特にコーンビームCT画像)を用いて、顎関節の形態に特徴があるのか評価することを目的とした研究計画を立案しました。

## 3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年3月31日まで

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

2023年7月までに昭和大学歯科病院矯正歯科を受診しコーンビームCT撮影による検査を受けた Down 症候群患者さんおよび、Down 症候群患者さんと年齢・性別の合致する先天性疾患を有していない患者さんの診療録から以下の情報を用います。

- ・患者背景(年齢、性別、診断病名、既往歴、現病歴)
- ・矯正歯科治療に必要なとする資料(口腔内写真、顔面写真、コーンビームCTデータ)
- ・コーンビームCTデータより顎顔面骨格評価項目(SNA、SNB、ANB)、下顎頭幅径、下顎頭長径、下顎切痕からの下顎頭高径、下顎頭最大豊隆部からの下顎頭高径、下顎頭体積を計測する。

## 5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

**6 . 研究組織**

研究責任者	研究機関名	昭和大学歯科病院	氏名	瀧澤 秀臣
研究分担者	研究機関名	昭和大学歯科病院	氏名	河合 良太

**7 . お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学歯学部歯科矯正学講座（昭和大学歯科病院矯正歯科）

氏名：瀧澤 秀臣

住所：東京都大田区北千束 2-1-1

電話番号：03-3787-1151（内線 259）